



NPO子育て品川ニュース

第9巻3号 2012.9.27

NPO 子育て品川
品川区戸越2-6-31
TEL 03-3781-6255
FAX 03-3784-6252

《子ども中心の保育を求めて～新しい息吹を吹き込んで～NPO主催のパネルディスカッションを開催》

8月23日(木)、品川区の中小企業センターで開催されたパネルディスカッションには保育園幼稚園関係者の他、議会・行政・研究者など約80人の参加がありました。

NPO 子育て品川代表理事小俣の挨拶に続き、同参与小沼氏から今国会で成立した子育て関連法を踏まえての課題設定とパネラーの紹介がありました。始めに吉田正幸氏(保育システム研究所代表)が「子ども・子育て支援の動向と今後の課題～問われる保育の質と子どもの生活保障～」として最新情報を提供、次に東京都教職員研修センター職員の大竹節子氏から品川区での幼保園の実績を踏まえて「時代の変化に応じた幼児教育の在り方-幼保一体施設の実践を通して-」の提言がありました。3人目の駒崎弘樹氏(NPO法人フローレンス代表)は新システムで認められた「小規模保育サービス」を紹介、最後に池田祥子氏(こども教育宝仙大学学長)は教員養成の立場から「0、1、2歳児の保育-家庭・地域・こども園」のテーマで「エデュケア」の視点の提示がありました。



フロアからも保育制度のあり方について活発な意見が出され、今後も幼保連携型認定こども園や子ども・子育て会議についての意見交換の必要性が痛感されました。

『東京新聞(8月24日号)』にパネルディスカッションの記事が掲載されました。

「保育制度 どうなる将来像 - 子育て関連法 今国会で成立 品川でパネル討論 -」 ー将来の保育制度のあり方を考えるパネルディスカッションが二十三日、品川区立中小企業センターで開かれた。「子ども・子育て新システム」と呼ばれる子育て関連法が今国会で成立したことを受け、「NPO 子育て品川」が企画。幼児教育の専門家ら四人のパネリストの発言に約八十人が聞きいった。

『品川ケーブルテレビ(9月15日～21日)』にパネルディスカッションの様子が放映されました。

会員の皆さま へのご報告

この度開催の第47回理事会は、現指定管理更新にあたり、第3期(26年度～30年度)の課題として下記を決議致しました(要旨)。 平成24年9月12日 代表理事 小俣 昌道

- 1) 指定管理者として、就学前教育施設・ふりすくーる西五反田の運営を第3期以降も引き続き担う用意があること。
- 2) 今後のふりすくーる西五反田の運営については、[8月10日に可決・成立、22日公布となった、3党合意の「子ども・子育て関連3法」の中]で、施設構成、運営方法、保育理念ともに本園に基本的に合致する「新幼保連携型認定こども園」とするのが妥当であると考えたこと。
- 3) 「総合こども園」が廃案となり、NPO法人では新幼保連携型認定こども園の設置が出来ないことになったこと。
- 4) 従って本法人として、社会福祉法人への法人格変更について、「法人格変更検討委員会」を設置することにし、正副代表理事ほか必要なNPO会員、その他外陪員を委属することにしたこと。
- 5) 付帯決議として現NPO法人の存続、設立資金の募集、新法人に適応した組織再編、保護者の会員権移が議決された。

〇年明けにはNPO会員、賛助会員との意見交換や勉強会をと考えております。ご意見ご要望をお寄せ下さい！

《ミネソタ州から留学生 8 名がインターンシップとして勉強に来ます》

ぷりすくーる西五反田では園児が多様な外国人とふれあい、世界に他いろいろなことや習慣があることに気づくことを願っています。NPO では鶴浦裕副代表理事の尽力で今秋も、ミネソタ州セント・ベネディクト大学／セント・ジョーンズ大学の学生さんを迎えることが出来ました。インターンシップとは学生が企業や福祉現場で一定期間研修をすることです。



学生は勤務として日本の幼児教育を学ぶ機会を得ると同時に、ぷりすくーるの園児や職員と英語で会話を行ったり、日本のことを教えたり、と双方向の収穫が期待されます。

期間は9下旬～12月初旬までで、午後の時間を中心に、2～3名ずつの参加を予定しています。英語の絵本読み聞かせ、日米の歌やゲームの交換など一緒に楽しめます。

【鶴浦裕理事】 文京学院大学 外国語学
研究科・外国語学部教授
プロフィール：上智大学外国語学研究科博士
後期課程修了。文学博士。ハーバード大
学、カリフォルニア大学バークレイ校、ジ
ョージタウン大学で客員研究員。専門分野
はアメリカ研究。



【5歳児の表現あそび・動物の森】

公開保育報告 6月28日(金) / 保育園は29日も実施

保護者の高い参加率：保育園40名(95%) 幼児教育67名(100%)

本年度の公開保育はメインテーマを「子ども中心の保育」としておこなわれました。第1部では各クラスの保育公開と保育説明が行われ、第2部の研究協議では4歳児担任と1歳児担当の発表の他、事前・事後を含めた指導に当たって下さったNPO法人ぴゅあさぼーと重松清文先生、こども教育宝仙大学池田祥子先生、本園理事で立正大学特任教授の大井晴策先生からの講評を頂きました。当日は

保護者とその関係者が延べ137名、NPO理事等の関係者として16名の参加がありました。

9月保護者会でお隣の松本園長先生が講演！

土曜日の早朝にもかかわらず多数の保護者が熱心にお話を聞いて下さり感激！

ぷりすくーると品川区立西五反田保育園は大の仲良し。これまで公開保育を見学させて頂いたり、交通安全教室を両園合同で行ったりと交流を深めてきました。6月には本園の職員会議に出席頂き、狭い園庭を「狭いと愚痴らずに」広く使う心意気を学びました。

この日のテーマは「就学を見越して一大切にしたい0歳から5歳児の生活」で、子ども中心の保育の具体的な事例に感銘を受けました。同時に多数の保護者の参加をうれしく思いました。(代表理事)



《教育・保育の質の向上に一步踏み出しました》 園長 渡邊 朋子

幼児教育部門は保護者の皆さんの賛同を頂き、10月より教材充実費が活用されます！

NPO理事会ではぷりすくーる幼保両部門での教育活動向上のため、本年1月より行政や保護者に理解を求め、4月には幼児教育部門ではピアノの買い換え、保育園部門ではトイレの増設、センター部門ではカウンセリング室の設置など、区の予算やNPO賛助会費のおかげで保育の充実を果たしてきました。

10月からは幼児教育部門では新規にご賛同頂いた「教材充実費」の活用が始まります。

レス・デュエル先生は夏休みを利用して絵本「Little Blue and Little Yellow」と塗り絵絵本「My Own Very Hungry Caterpillar Coloring」を5歳児用に購入してきてくれました。



【3歳児でのレス先生・9月11日】

3歳児でも楽しめる絵本として「A Quiet Day in the Jungle」を幼児教育部門の全員分を購入することも出来ました。教科書としてレス先生に読んでもらったり、自分で読んだりします。いずれ家庭にも持ち帰りご家族でも楽しんで頂きます。

NPOでは保育園部門にも活動を拡大することを考えています。